

2005年 1月 31日

東日本旅客鉄道株式会社

信濃川発電所の一部発電の再開について

信濃川発電所(千手発電所、小千谷発電所、新小千谷発電所)は昨年10月に発生した新潟県中越地震により被害を受け発電を停止しておりましたが、これまでに復旧を終えた設備の健全性が確認出来たため、一部発電を再開いたします。

- ・ 1月17日に国土交通省信濃川河川事務所より毎秒62.5 m³の取水許可を得て、千手発電所の発電機1台(約3万kW)の運転再開に向け各種試験を実施してきましたが、2月1日より一部発電を再開します。なお、発電には被災している調整池を使用せず、復旧を終え健全性を確認した設備だけを利用します。
- ・ 全面復旧については現在鋭意検討を進めており、今後その見通しが明らかになり次第、別途お知らせします。

(付記)

- ・ 信濃川発電所の施設は、宮中取水ダムより取水している十日町市と小千谷市の流雪溝用水と施設を共用しており、流雪溝用水については、昨年12月21日より毎秒3 m³の取水をすでに行っています。
- ・ 信濃川発電所の最大可能取水量は毎秒約317 m³です。
- ・ 信濃川発電所全体の認可出力は約45万kWです。

以上